

授業科目名・形態	日常生活支援技術演習Ⅷ（睡眠）	演習	必修・選択の別		選択
担当者氏名	工藤 久・石岡和志	開講期	3年後期	単位数	1

【授業の主題】

「尊厳保持」の観点から、どのような状態であってもその人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。生活支援技術論で学習した人体の構造と機能の知識を基に自立に向けた睡眠の介護についての知識と技術を習得する。

【到達目標】

- 1) 睡眠の意義・目的を理解する。
- 2) 安眠のための介助の技法を習得する。
- 3) 利用者の状態・状況に応じた睡眠介助の留意点を理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 睡眠の意義と目的、安全・安楽について考える（石岡）
- 第2回 睡眠におけるICFの視点とアセスメント（石岡）
- 第3回 安眠のための介護の理解と実践（石岡）
- 第4回 安眠を促す介助の技法（石岡）
- 第5回 睡眠における介護技術 ①基本的理解（石岡）
- 第6回 睡眠における介護技術 ②自立度が高い場合、部分的援助を要する場合（石岡）
- 第7回 睡眠における介護技術 ③全面的援助を要する場合（石岡）
- 第8回 睡眠における介護技術 ④（工藤）
- 第9回 睡眠における介護技術 ⑤（工藤）
- 第10回 安眠のための介護の工夫（工藤）
- 第11回 感覚機能が低下している人における睡眠の介護技術（工藤）
- 第12回 運動機能が低下している人における睡眠の介護技術（工藤）
- 第13回 認知・知覚機能が低下している人における睡眠の介護技術（工藤）
- 第14回 不眠時の対応（工藤）
- 第15回 関連職種との役割と連携、福祉機器（工藤）

【授業実施方法】

グループワーク、演習形式とする。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】 介護の基本、介護総合演習、生活支援技術論

【教科書等】

新・介護福祉士養成講座 生活支援技術Ⅱ（第3版）中央法規（株）

【参考文献】

必要に応じて、授業の中で適宜提示する。

【成績評価方法】

筆記試験 70%、レポート等 20%、平常点 10%による総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

対象者の個別性や安眠について理解し、積極的に基本技術を習得しましょう。